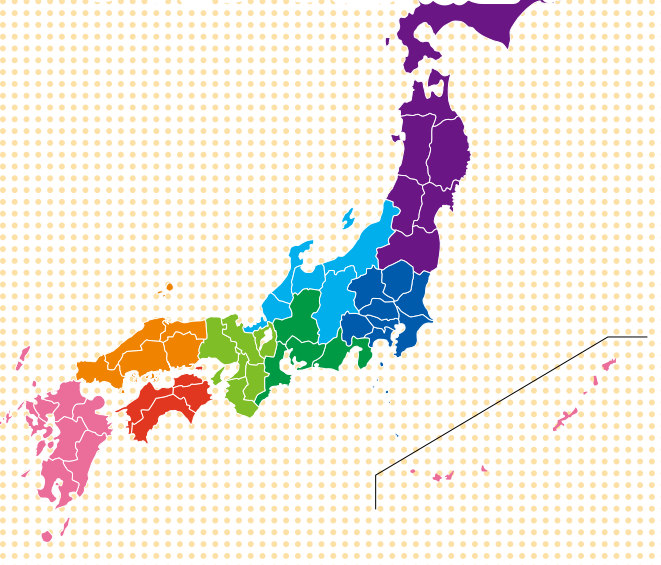


都道府県薬剤師連盟 全支部長の挨拶

vol.1

「組織強化」 に対する意気込み



青森県
●むつ下北支部
松木 勝廣

当支部は少人数の支部であり、かつ地元出身の薬剤師が少ない地域でもあり、薬剤師の異動が、小さい支部のわりには多く見受けられます。したがって、近を構成する各薬局の連盟入会者を正しくメンテナンスすることが大変大事な支部の仕事であります。今後も、各院長の先生方と協力し連盟会員増強を正しく把握して行くとともに、如何に薬剤師が政治に参加していかなければならぬかをより多くの機会を作って、正しく伝えていきたいと思っています。

青森県
●十三支部
伊藤 博次

連盟の活動において我が支部では、若手に関心を持ってもらう事を最優先課題とし、若手フォーラムへの積極的な参加と、地域における政治活動の重要性を理解してもらう為、地区の責任者（班長）などに登用し活動してもらい組織強化をはかっているところです。

青森県
●弘前支部
前田 淳彦

弘前支部の会員は340名ほどです。若い世代が多く活発な活動をしています。昨年は、弘前支部で、青森県若手フォーラムを開催しました。

福島県
●福島支部
本間 正幸

福島支部の標語「楽即能久！」文字どおり楽しいことは長続きするということであり、これを実践活動としています。

青森県
●八戸支部
山田 文義

政治や薬剤師連盟に対して決して関心が高いとは言えない当地区ではありますが、日本薬剤師連盟、青森県薬剤師連盟と連携を密にしながら、地域でより活発な活動ができるよう尽力していきたいと思っています。

福島県
●二本松支部
藤田 俊徳

定期的開催する研修会等において連盟について話す時間を設け、出席者に話している。

福島県
●郡山支部
山田善之進

非会員を含めた若手薬剤師勉強会を開催している。また、就職していない非会員に復職支援の研修会や薬局実習を行い、就職の斡旋をすることにより会員の増員をはかっています。

福島県
●伊達支部
遠藤 正光

支部内の中核病院の薬剤師が中心となって「伊達地区薬業連携勉強会」が立ち上がっている。年2回のペースで研修会を開催しており、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携強化に活用したい。

福島県
●石川支部
菅野 欣吾

支部の研修会終了後、30分程度時間を取って意見交換会を開催している。

福島県
●会津支部
渡邊 博康

常に会員数×2を得票できるように組織づくりをしたい。

福島県
●白河支部
谷澤 雅司

連盟の大切さや重要性を理解してもらい、薬剤師の将来のあり方を共に考えていきたいと思っています。

福島県
●須賀川支部
細井 正彦

近隣の薬剤師会と連携し、若い薬剤師を中心とした政治活動推進に取り組みます。

福島県
●田村支部
濱田 博夫

若手の薬剤師を育てる事が一番。その為には連盟の活動に限らず支部の勉強会でもとにかく運営にかかわってもらう事が大切です。若手を信じさせる事できっと未来のリーダーが育っていくと思います。

福島県
●相馬支部
佐藤 悟

当支部では、選挙(国政、県議選、首長選等)時に応援すべき候補者がいる場合、各薬局に協力依頼をしながら、また、支部研修会の機会を利用して、組織強化に努めています。

福井県
●大野支部
齊藤 隆英

薬剤師の地位向上には政治の力が大であると認識しています。全店が連盟に加入するように努力しますが、選ばれた方も現場の声に耳を傾け働きやすいようにしていただきたい。

福井県
●福井支部
篠田 秀幸

福井支部では、30代の若手薬剤師を中心とした組織強化委員会を立ち上げ、活動を行っています。

福井県
●鯖丹支部
服部 陽一

国会は国民生活(薬剤師生活)に影響する法律や予算を決める大切な場。職域代表の必要性を支部会員に徹底。

福井県
●いわき支部
阿部 正敏

薬事研修会や支部総会、地区国会議員の来賓後に薬剤師連盟の活動とその重要性を毎回説明し会員増強に協力要請している。

福井県
●敦賀支部
南 雅継

勉強した成果を生かすには公の認定が必要になる。そこに関わる政治家を支えるため、得票数を上げていく。

福井県
●病院支部
竹内 哲夫

医薬分業の是非が問われる中、政治的に働きかける重要性を認識してもらい、病院部会の会員数を増やす努力をします。

福井県
●坂井支部
酒井 亨

坂井支部では、人とのつながりが何より大切であると考える活動を進めております。

福井県
●武生支部
加藤 守男

分業の進展に伴い、会員の就業形態が変化している。それに対応した組織とリーダーが必要だと痛感している。支部のホームページ新規開設に伴い、支部組織のあり方を明確にして掲載する予定。

岐阜県
●南濃支部
児玉 豊

組織強化活動は人間関係を築くことから始まります。その際に必要となってくるのが「コミュニケーション」です。良好なコミュニケーションを作るために店舗訪問、勉強会を積極的に行なっています。

岐阜県
●大垣支部
松本 正平

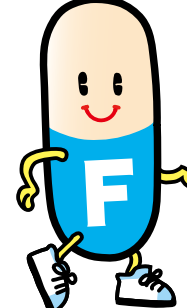
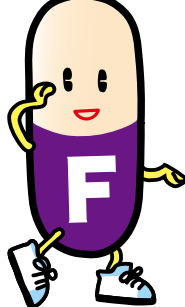
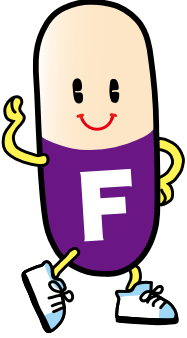
大垣支部は、研修会の時間に幹事長に連盟の歴史と意義を講演してもらいました。また、地元選出の自民党国会議員、県会議員の支援を行っています。

岐阜県
●岐阜支部
岩田 克擴

毎月、新入会員の入会時に面談を行い、その際、各自に直接、組織力の重要性、政治活動の必要性を説明し、ご理解と協力をお願いしております。この活動は地味ですが10年以上継続して行っています。

福井県
●若狭支部
田中 敬二

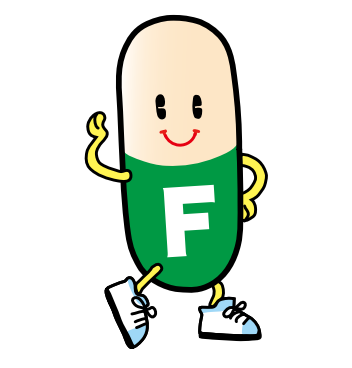
薬剤師Powerをどうひとつに集約するか。政治力の必要性を理解してもらい、連携強化のための「物言う」薬剤師を育てたい。





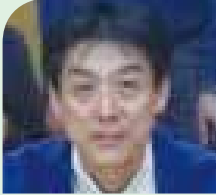
●桑名支部
田崎 文昭
三重県

薬剤師一人一人が自分達のために一人でも多く政治に関心を持って頂くよう取り組んでいきます。




●飛騨支部
重山 朋代
岐阜県

まとまりのある13薬局で月1回の勉強会、情報交換会を行い横の繋がりを大切にしています。



●下呂支部
住 智治
岐阜県

下呂地区では、連絡会や親睦会を数多くおこない団結を図っています。薬剤師がその機能を発揮できるように、地方から薬剤師の見える化を示していきたいと思っています。




●関支部
丹羽 智子
岐阜県

FAX一斉送信を使用して、適時情報を会員に連絡しています。今年は研修会も企画しています。



●伊勢支部
後久 正昭
三重県

とすれば技術者集団に陥りがちな薬剤師であるが、望まれている薬剤師本来の機能を発揮するために政治活動は必須である。そのことを若手・女性薬剤師と語りあって行かなければならない。伊勢支部ではこのことを根気強く働きかけたい。




●松阪地区支部
長島喜久雄
三重県

前厚生労働大臣の地元ということで普段より連盟活動には力を入れておりますが、医薬分業が進むにつれ若手薬剤師の意識が薄れていっているように思われます。今一度連盟の必要性を浸透させていきたいと思っています。



●津支部
寺田 幸司
三重県

昨年就任したばかりですが、会員数280名を超えやる気のある若い方も多く、逆風の中一丸となって進んで行きたいと思えます。




●鈴鹿亀山支部
藤本 修嗣
三重県

組織力は団結することから生まれるものであると信じています。全員が一丸となって欠けることなく正しい方向に向かって前進する地域薬剤師会を目指しています。



●四日市支部
藤戸 健司
三重県

組織内候補を通したからといってバラ色の未来が開けるわけではない。だが落とすような事態になればイバラの道が約束されている。何をすればよいか？皆まで聞くなオトナなら。



●病診支部
吉川 香
三重県

若い薬剤師に、“職能を発揮するために政治力が必要”と認識していただくことが重要と考えています。



●紀南支部
東 守久
三重県

紀南薬剤師会一丸となり頑張ります。



●紀北支部
清川 治
三重県

薬剤師の地位向上、利益確保のために政治力は必要。同じ危機意識と情報交換で支部の連帯感を高めたい。



●伊賀支部
廣田 育史
三重県

調剤報酬改定、規制緩和の時だけではなく、日頃から政治力の必要性を伝え続ける事が、組織強化に繋がると考えます。



●鳥羽志摩支部
上村 肇
三重県

組織力が薬剤師力に繋がるので、三重県薬剤師連盟を充分に下支えできるよう支部の組織作りを行いたい。



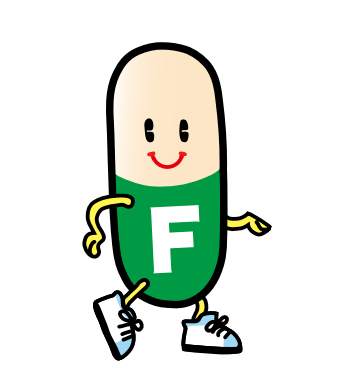
●八幡支部
磯矢 毅
滋賀県

若い会員の増強。地域薬剤師会の功績や歴史・現状・未来のあるべき姿を話し合おう。



●製薬支部
井花 正人
滋賀県

滋賀県薬剤師連盟 製薬支部では、連絡網の見直しを行い、会員との更なる連携、意思の疎通を図ることで支部における連盟活動を活性化することにより、組織強化に繋げていきたい。また、入会勧誘を積極的に行い、会員の増強を図りたい。




●教員薬剤師支部
八重 徹司
三重県

国民は安全・安心な薬物療法を求めています。その期待に応える若手薬剤師を育成・支援しながら連盟組織の地盤強化を図ります。



●勤務薬剤師支部
松本九二央
三重県

当会は74名の会員で構成されており、会員及びそれらの家族等にも平成28年の参院選に協力していくことを周知徹底していく。



●甲賀湖南支部
福澤 圭子
滋賀県

この支部は広域なため、ブロックにわけ、各会員との面談を密にすることに心がけようと思います。




●大津支部
渡辺 茂
滋賀県

大津支部では、1票、1票積み上げていく為に「政治の力」を説明するだけではなく、理解して頂けるまで歩き回ります。



●東近江支部
川端 浩敬
滋賀県

薬剤師会の例会後に幹事を含めて意志疎通を図る。機関紙等は班長自ら班に配り会員の連携を図る。




●湖北支部
若森 文夫
滋賀県

北びわこ薬剤師の集い(若手会)のメンバーを中心に班編成をし、全店を繰り返し訪問し必要性を強く訴えます。




●草津支部
横井 正之
滋賀県

選挙時だけでなく、日頃から政治意識向上のために、市議や地域の国会議員の方を招いて勉強会を行っています。



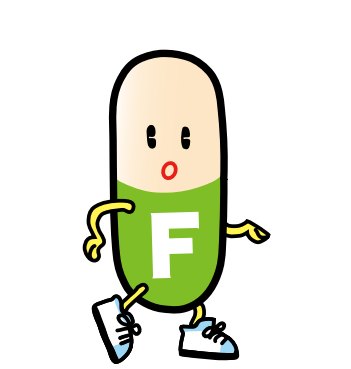
●尼崎支部
橋本 勝
兵庫県

尼崎支部では地域医療連携・介護医療で繋ぐ地域包括ケアを確立し県・市・関係団体への協力要請を求め薬剤師職能の向上を図っています




●神戸支部
濱野 謙一
兵庫県

神戸支部では薬剤師連盟の推す議員が国会やそれに類する場、国民へ薬剤師の有能さをアピールした際に、その発言内容と実際の薬剤師の発揮している職能の差が無いよう、政治に関わる事の重要性和発言と期待を裏切らない様に会員の教育を行っていきたく考えています。




●高島支部
木下 博之
滋賀県

高島市は滋賀県の北西に位置し、その面積は長浜市に次ぐ県下第2ですが、琵琶湖を含めた面積は県下一です。逆に、会員数は40名足らずの県下最少支部です。このような見晴らしの良い土地柄ですので、こまめな訪問を通して、支部会員の一人ひとりの活動を最大限に引き出し、目標達成に向けて組織力を強化して結束することを最重要課題としていきます。



●彦根支部
豊田 和男
滋賀県

彦根には70程の薬局があり、支部例会には60名程が出席されますが、さらなる出席数を増やしたいと思っています。



●芦屋支部
田中 千尋
兵庫県

講習会の幕前演説で連盟活動を会員の皆様に理解して頂けるよう、地域選出の議員さんにもお話ししました。



●西宮支部
山田 京子
兵庫県

支部の活動強化のため、独自に会員より会費をお願いしています。他、支部の情報誌を配布(不定期)。



●宝塚支部
山本 眞七
兵庫県

地元議員との連携を強め、会員の政治意識を高めていけるよう連盟活動に取り組んでいきます。



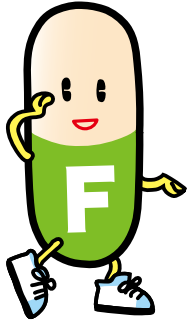
●川西支部
瀬木 知子
兵庫県

班長制度を活かし若若男女が力を合せて組織強化に取り組み会員の政治意識を高めることに努めます。



●伊丹支部
金森 隆一
兵庫県

医療・介護の分野で薬剤師の職能を効率的に反映させるために、他職種との連携を図っています。



●姫路支部
福田 忠浩 兵庫県

次世代を担う若手を中心に講習会・交流会を実施し、政治家を招き政治に関心を持ってもらっている。

●播磨支部
中川 道昭 兵庫県

解散中の班組織を復活させ、活動の要となる班長さんと共に Face to Face をもって会員さんの政治参加を図ります。

●東播支部
高馬 将一 兵庫県

今年3月から東播支部支部長になりました高馬将一と申します。東播支部は、三木、小野、加西、加東、西脇、多可の6地区からなる支部です。組織強化をするうえで、6地区が一つにまとまるのが大前提になりますので、各地区長間で集まり、意識統一をしていきたいと思います。

●明石支部
佐山 秀門 兵庫県

若手有志で年に1~2回くらい飲み会を開いて横のつながりを広げています。大体15~20名くらいの先生方が参加されています。

●淡路支部
岡田美智子 兵庫県

前回 参議院議員選挙では淡路支部会員の皆様には、職場のスタッフ はじめ 家族 親戚の方にもご協力頂きました。これからは もっと若い薬剤師の力を発揮してもらえよう 組織化への努力をしていきたいと思います。

●但馬支部
坪井 晶子 兵庫県

本会支部長とともに本会支部の活動を通して団結を推し進めるなか医療・介護等の問題も考えていきたい。

●摂丹支部
永田久美子 兵庫県

薬剤師職能の確立を目指し政治的活動が必要である事を知らせ政治に関心を持ってもらい連盟会員の裾野を広げていく。

●西播支部
山本 義人 兵庫県

研修会等に県業連盟幹部を招き、連盟・薬剤師議員の必要性を認識してもらえよう、定期的にしていきたいと思います。

●天理・磯城支部
石田 全功 奈良県

天理・磯城地区は選挙区では2区・3区に分かれています。自由民主党の支部を通じ議員、議長そして市長へと薬剤師会の市等への貢献をよく理解していただき多大の援助等を頂いております。これからもPRを続けていく所存です。

●郡山支部
福本 雄樹 奈良県

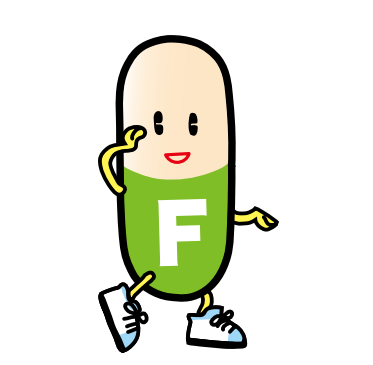
薬剤師連盟郡山支部としては、当薬剤師会と協力して鋭意努力していきたいと思っております。

●生駒支部
中栖 光啓 奈良県

地区会・若手フォーラムへの積極的参加等結束・理解を深め、政策的背景に係わっていききたい。

●奈良支部
秋本 行俊 奈良県

「医療で街づくり」の意識を持つことだと考えます。薬剤師が地域医療スタッフとして活躍するには、MissionとPassion そしてActionが必要です。そして3つを包括するVisionがさらに必要です。



●西和支部
藤田 正治 奈良県

支部勉強会などを通じて、それぞれの会員家族や薬局の従業員に意識付を行い、啓発に努力している。

●香芝・広陵支部
隅田 重義 奈良県

本支部は、薬局数は多く増えているが薬剤師会に登録されている薬剤師の割合が増えているのが実情である。そこで支部において薬剤師が支部に入会してくれるような魅力ある環境づくりを行っていきたく考えている。

●高田・葛城支部
北川 昇一 奈良県

薬剤師の職能がこれからも発揮できるように各会員とその家族や従業員に再確認してもらおう。

●橿原・高市支部
山田 三郎 奈良県

支部研修会で薬剤師に、何故政治組織が必要なのか、県幹事長をまじえ会員に理解協力をお願いしました。

●桜井・宇陀支部
後岡敬太郎 奈良県

普段から情報交換などで、各薬局間で連携を密にしておく必要がある。

●病院診療所支部
関 源一 奈良県

奈良県病院薬剤師会としてまずは連盟に関していかに周知を図るか、いろんな方法を検討していきたいと思っております。

●製薬支部
増田 善昭 奈良県

県内の製薬メーカーに勤務する薬剤師で奈良県製薬薬剤師会を組織し年間10回以上のセミナー及び研修会を実施しています。

●吉野支部
支部長交代の為、2016年新年号掲載予定 奈良県

●五條支部
北村 佳宏 奈良県

身近なところから確実に。家族、友人そしてまた、その家族、友人と輪が広がっていく活動を徹底します。

●御所支部
楠本 真也 奈良県

若手フォーラムへの積極的参加や、今後の薬剤師の環境について、話し合っています。

●光支部
村田 修 山口県

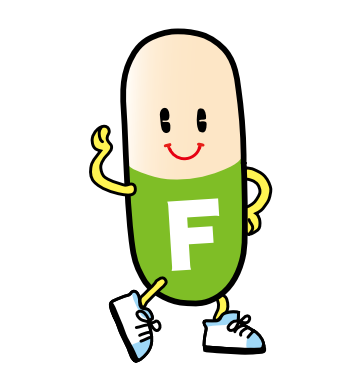
「処方箋は勝手に患者さんが持ってくる」と思っている皆さんへ、それを支えているのは藤井基之先生の努力なのです。

●柳井支部
棟近 信 山口県

班組織の活用を通して連盟活動の必要性和会員相互の連携を深めて薬剤師職能の飛躍を目指します。

●岩国支部
千住 雅文 山口県

支部全体で一丸となり更なる飛躍、政治等への関心、特に若手会員の意識向上を目指しております!



●卸支部
福田 泰三 奈良県

私達卸支部は一丸となって、他支部と力を合わせ、薬剤師連盟の方針に沿って頑張ります。

●山口支部
遠藤 孝人 山口県

薬連山口支部は、県議会議員を顧問に迎えて市との連携を強化し、六班に分けた会員と連絡網を用いて連絡を取り合っています。

●防府支部
三堀 史郎 山口県

防府支部では、支部長及び県業連理事が防府薬剤師会の理事なので、理事会終了後、業連会議を行っています。

●新陽支部
平川 雅男 山口県

支部会員一人ひとりが同じ方向を向くような組織にしていきたいと考えています。


●徳山支部
寶迫 邦幸 山口県

今年地方選挙の予定です。地方創生が進む環境の中で何を考え投票するのか、今まで投票してきた結果がどの様になったのか。選挙投票年齢が18歳に変わるとする中投票後の結果が身近に感じられないと若い人達の選挙に対する関心が益々薄れてきます。その状況を今回の地方選、来年の参議院選で少しでも身近なものにできればと感じます。

●下松支部
児玉 敏雄 山口県

班組織、班長間の連絡を強めるため会合等を増やし連絡をとり合い共同で行なうことを増やして行きたい。

●美祿支部
山口県
宗像 雅浩




小さい支部ですが、今後ともがんばっていき
たいと思います。

●下関支部
山口県
河井 臣吾




市議や県議との交流を通して若い世代の方
に政治との関わりを理解してもらえるよう取
り組んでいます。

●山陽小野田支部
山口県
藤原 哲



組織強化には会員のコミュニケーションの
育成が最重要であり、楽しい会合を多く開く
ことであると考えます。

●宇部支部
山口県
廣田 實



組織強化、地道に「日業連盟だより」を笑顔で
手渡す。苦労も増えるが仲間も増える。挨拶
はやがて花を咲かす。

●吉南支部
山口県
渡辺眞美子



保守基盤ががっちりしている山口県中央の
支部です。この結束を維持していきたいと会
員の相互理解を深めます。

●新居浜支部
愛媛県
村山 勝志

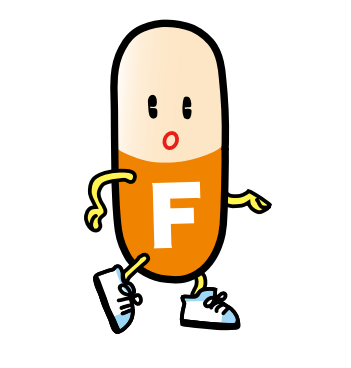


当地区で若手薬剤師フォーラムが開催され
今後の薬剤師像を見据えて地域連携のでき
る支部作りを目指しております。

●宇摩支部
愛媛県
種田 爲重



宇摩支部にいま必要なのは縦横の繋がり
の強化。先輩方から教えて頂きながら1本で
多く「繋がり」を作りたい。



●萩支部
山口県
柏木 一宏



萩支部は会員70名の小規模な会ですので月
例会を始め、フェーストウフェースで意思の
疎通を心がけています。

●長門支部
山口県
河田 淳志



長門支部は、小さな組織なので、つながり
をたいせつにしてみんなで協力し、助け合っ
ていきます。

●大洲支部
愛媛県
森並浩一郎



当支部では薬剤師業務を地域住民の方々に
アピールするため、地域のお祭りに健康相談
ブースを出展するなど行動を起こしていま
す。これからは薬剤師と政治の関わりにつ
いても積極的に学び、支部内で議論を深めたい
と思っています。

●松山支部
愛媛県
鴻海 俊平



支部内のブロック活動等において、日頃より
会員間の交流を進めている。今後も、意見交
換の機会を増やしていきたい。宜しくお願い
します。

●今治支部
愛媛県
菅 大治郎



薬剤師の仕事と政治活動が関連している事
を理解してもらい、皆の連携を強化できるよ
うに頑張りたい。

●東予周桑支部
愛媛県
佐伯 純也




小さな支部なのでまとまりはあります。
今後も一致団結して、隣の支部とも連携して
いきたいです。

●西条支部
愛媛県
村瀬 文隆



連盟活動の重要性を再認識してもらう為に、
情報伝達網を整備し組織の更なる活性化を
図りたいと思います。

●別府支部
大分県
友成 朗

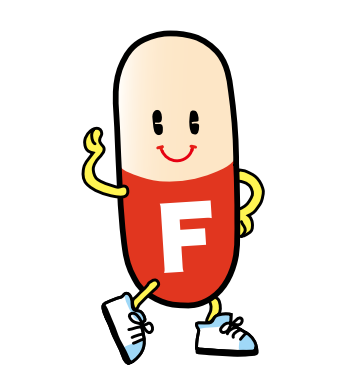


上層部の政治に関する考え方や会員の政治
に関する考え方の温度差はかなりありその
温度差を埋めることで連盟が強固なものとな
る。参院選に向け大分県薬剤師会の意識向上
に努めていきたい。

●大分支部
大分県
永富 茂



若い薬剤師が夢を持てるような会にする為
に若手を登用、育成して組織の強化に繋げて
いきます。その為には、薬剤師の政治への関
わりは必須であり、一人でも多くの薬剤師の
連盟への加入を推薦します。



●宇和島支部
愛媛県
井上 貴博



当支部は愛媛の西南地域の田舎の支部です。
Facebookを使った組織強化をしたいと思
います。

●八幡浜支部
愛媛県
久世 和孝



若い薬剤師の政治離れが進んでいる。
気軽に話し合える機会をたくさん作ることが
必要だと思う。

●杵築支部
大分県
佐藤 英隆



薬剤師として国民に信頼されるべきであり
一番であり、本会も連盟も、下部組織の重要
性を認識し、今後ITなどの情報ツールを効果
的に活用し、若手薬剤師にも政治参加意識
を高め、心をつなげて、両輪の組織強化に
つなげたい。

●国東支部
大分県
橋本真由美




薬剤師が活躍できる社会の実現には、政治力
の必要性、重要性を会員にアピールしてい
きたい。

●高田支部
大分県
山田 秀夫



次回の参議員選挙は、18歳からの投票となる
今、薬剤師を目指している若者に、我々薬剤
師連盟は、どのように取り組むのが、大きな
ポイントとなる。

●宇佐支部
大分県
友松 茂喜




当支部では、若手薬剤師に政治への関心
を持ってもらう為、組織強化、得票数アップ
を図っていききたい。

●中津支部
大分県
川口 純市



当支部では選挙のたび全支部会員に署名活
動をお願いしていますが、全会員が協力的
であり今後も現体制を維持してゆく所存
です。

●佐伯支部
大分県
脇田 佳幸



勤務する若い世代の薬剤師に、連盟と藤井も
とゆき先生を身近に感じてもらえるよう呼び
かけをしていきたい。

●豊後大野支部
大分県
矢野ことみ



当会は、45名の会員で構成されている超高
齢化地域に位置する小さな薬剤師会です。
20年前より月1回の研修会を行い、薬と健康
の週間行事など会員全員で地域社会と係り
を持つようになっています。

●玖珠支部
大分県
小野 哲郎



玖珠郡薬剤師会は連盟として活動が全くない
状況ですが、今後は会員の先生方と協力作
って活動していきたいと思っています。

●臼津支部
大分県
遠藤晃五郎

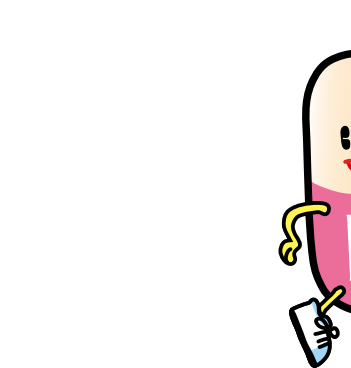


薬剤師会としては多職種の医療機関による
地域医療介護情報連携システム「うすき石
ねっと」に参画して各組織との連携・情報共
有をとりながら薬局間の情報交換を密にし
て薬剤師会としての組織強化を進めていま
す。

●日田支部
大分県
小野 一行



日田支部では特にこれといった組織強化策
は行っていませんが、連盟会報(POWER)
を私を含めた理事7名で手分けして会員に配
布しています。



●病診支部
大分県
梶原 直美




病院・診療所の経営主体の区別なくほぼ全員
が連盟に加入し、大分県薬剤師連盟と共に組
織強化を図っています。

●竹田市支部
大分県
首藤 則男



竹田市は高齢化が進む人口23,000名の市で
ある。会員数17名で活動している。「政治と薬
剤師の関わり」について再確認し、組織強化
を図っていく所存である。

●坂ノ市支部
大分県
杉原 正敏



支部の各地域の組織を含めた連絡網の見直
しを行い、支部との連携し意志の政通を図
る。薬剤師各人の自覚を促す取り組みを強化
する。